

フジコ・ヘミング東日本大震災動物チャリティコンサート

2011年3月11日、世界中に大きな衝撃が走りました。
今回フジコ・ヘミングさんの強い希望によりすみだトリフォニーホール公演がチャリティコンサートとなりました。
この度の東日本大震災にて被災された地域の皆様、関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興を心より祈念申し上げます。

2011年6月29日：すみだトリフォニーホール

※フジコ・ヘミングさんは上記以外にチャリティコンサートを多数実施しております。

6月29日すみだトリフォニーホールコンサートのフジコさんの出演料は東日本大震災及び原子力発電所事故による影響で置き去りにされた動物たちを救う活動をしている団体に贈られます。

Fuzjko Hemming

SIGNED BY FUZJKO HEMMING

● ラ・カンパネッラ/青葉ピアノで企画主催する6月24日京都コンサートホール、6月29日すみだトリフォニーホールのコンサート会場内に募金箱がございます。皆様の温かいご協力を宜しくお願い致します。

企画 主催：ラ・カンパネッラ/青葉ピアノ

チャリティ協力：認定NPO法人日本アニマルトラスト

チャリティ協賛：ライオンズクラブ国際協会330-A地区5R2Z東京江戸川ライオンズクラブ



フジコ・ヘミング LIVE DVD 新 発 売

フジコさんの弟ウルフさんがプロデュースしたライブDVDが完成しました。
初回発売はコンサート会場にて優先販売となります。

(2009年市川市文化会館収録)税込3,800円



本日はご来場頂き誠に有難うございます。



フジコ・ヘミング ピアノコンサート

2011.6.24 京都コンサートホール

主催：“ラカンパネッラ”/青葉ピアノ



Program

F. ショパン (1810~1849)

◆前奏曲 プレリュード 作品28より

第7番:イ長調 Andantino、第3番:ト長調 Vivace、第10番:嬰ハ短調 Molto allegro、
第11番:ロ長調 Vivace、第5番:ニ長調 Molto Allegro、第19番:変ホ長調 Vivace

J. S. バッハ (1685~1750)

◆6つのパルティータから 第1番 変ロ長調 BWV,825より

前奏曲 Prelude、アルマンド Allemande、クーラント Courante、サラバンド Sarabande、
メヌエット Menuett I, Menuett I、ジグ Gigue

◆カンタータ BWV, 147より(主よ、人の望みの喜びよ)

～ 休憩 ～

M. P. ムソルグスキー (1839~1881)

◆ピアノ組曲『展覧会の絵』

第1プロムナート : 1. 小人 Gnome

第2プロムナート : 2. 古城 Il Vecchio castello

第3プロムナート : 3. テュルリーの庭 - 遊びの後の子供たちの口げんか
4. ビドロ 牛車 Bydlo

第4プロムナート : 5. 卵の殻をつけた雛の踊り
6. サムエル・ゴールデンベルクとシュムイレ

第5プロムナート : 7. リモージュの市場
8. カタコンベ - ローマ時代の墓 ~ 死せる言葉による死者への呼びかけ~
9. 鶏の足の上に建つ小屋 - バーバ・ヤーガ
10. キエフの大門 La grande porte de Kiev

F. リスト (1811~1886)

◆3つの演奏会用練習曲 作品144より 第3番(ため息)

◆パガニーニによる大練習曲 第3番 (ラ・カンパネラ)

※曲目・曲順は変更になる場合が御座います。予めご了承下さい。



Modest Petrovich Mussorgsky

モデスト・ベトロヴィッチ・ムソルグスキー (1839~1881)

1873年の夏、親友であったヴィクトル・ハルトマンの急死に大きな衝撃を受けた。ハルトマンは画家で、亡くなった時まだ35才の若さだった。その翌年この亡友の遺作展を見た直後、激情を込めて書きあげたのがこのピアノ組曲である。しかし、この曲は作曲者の在命中出版はもとより、公開の場で演奏されることもなかった。ムソルグスキーの死後、1886年R.コルサコフのはからいでこの曲は出版されはしたが、今日のような人気を勝ち得るのはさらに40年ものちのことである。20世紀前半を代表する大指揮者のひとりであり、ボストン交響楽団の指揮者として知られるクーセヴィツキーは、自分が敬愛してやまないムソルグスキーのこのピアノ曲の編曲をラヴェルに頼んだ。ラヴェルは喜んでこれを引き受け、自らの全力を結集したような見事な作品に仕上げた。1923年5月3日の初演は大成功で、それ以後クーセヴィツキーの独占使用期間の5年間で終わって、さらに世界中のオーケストラの主要レパートリーに含まれるに至り、今でもその人気はおとろえることがない。

全10曲には絵の名前が標題としてつけられ、ほかに前奏曲や間奏曲の役目を果たすプロムナードが前後5回現れる。これは冒頭にトランペットが吹きならすメロディによっており、展覧会でムソルグスキーが逍遙する感じを表したものである。

●プロムナード1

◆第1曲「小人」…くるみ割り人形の足の不自由な小人が飛び跳ねている様子が描かれている。

●プロムナード2

◆第2曲「古城」…イタリアの古い城、サキソフォーンがもの悲しいメロディを歌う、全曲中一番ロマンチックなところ。

●プロムナード3

◆第3曲「テュルリーの庭」…テュルリー公園で子供達が遊んでいる。喚声や歌やらが賑やかに聞こえてくる。

◆第4曲ビドロ「牛車」…ポーランドの農民がつかう牛車が、のしのしと近づき、やがて遠ざかる。御者の歌も聞こえてくる。

●プロムナード4

◆第5曲「卵の殻をつけた雛の踊り」…木管楽器が雛のさえずりを描いて、全体に賑やかな曲である。

◆第6曲「サムエル・ゴールデンベルクとシュムイレ」…肥って金持ちのゴールデンベルクに向かっての貧しくて弱々しいシュムイレの抗弁をユーモラスに描く。

●プロムナード5

◆第7曲「リモージュの市場」…南フランスの市場に集まった女将さんたちのおしゃべりや噂話がこやみなく続く。

◆第8曲「カタコンベ・ローマ時代の墓」…ローマの地下墓地。荘重な響きに、やがて墓の中から読経のような聖歌が聞こえてくる。

◆第9曲「鶏の足の上に建つ小屋」…ロシア伝説に出てくる妖婆の小屋の形をした時計のスイッチがもとになったダイナミックで起伏の激しい、奇怪な幻想的音画。

◆第10曲「キエフの大門」…キエフに建設されるはずだった大門のデザイン。フィナーレにふさわしく寺院の鐘も鳴り響き、壮麗なクライマックスをむかえる。

解説:緑川 潤(日本東欧芸術家交流協会会長)



Chopin Festival 2010

フジコさんは2010ショパン・フェスティバルで
パリとワルシャワの宮殿に招かれ、大喝采で成功を収めました。